

広角ズームレンズ“RF15-30mm F4.5-6.3 IS STM”を発売 1本で風景やスナップなど多彩な写真・映像表現を実現

キヤノンは、「EOS R システム」の交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、普及価格帯の広角ズームレンズ“RF15-30mm F4.5-6.3 IS STM”を8月下旬に発売します。



RF15-30mm F4.5-6.3 IS STM



広い画角を生かした撮影が可能



幅広い撮影シーンに対応

“RF15-30mm F4.5-6.3 IS STM”は、焦点距離 15mm からの超広角撮影による多彩な表現を実現しつつ、高画質と小型・軽量を両立した広角ズームレンズです。ダイナミックな風景や自然なスナップなどの静止画撮影も、SNS で需要の高まる動画撮影も1本で幅広くカバーする RF レンズをラインアップに加え、ユーザーの多様なニーズに応えます。

1. 焦点距離 15mm から 30mm の広角を生かした多彩な写真・映像表現

焦点距離 15mm からの超広角を生かし、被写体との距離が十分にとれない室内や狭小スペースでの撮影や、ダイナミックな遠近感を生かした表現が可能です。また、焦点距離 30mm では見た目に近い自然な画角と遠近感やポケ味を生かした撮影表現が可能です。15mm から 30mm の焦点距離をカバーすることで、風景や建物、スナップ、ポートレートなど多様な撮影シーンに対応します。

2. ズーム全域で色にじみの少ない高画質と小型・軽量を両立

1枚の「プラスチックモールド非球面レンズ」と2枚の「UD レンズ^{※1}」を含む11群13枚の光学設計を採用し、「プラスチックモールド非球面レンズ」を効果的に配置することで、少ないレンズ枚数で光学系を構成しています。これにより、コストを抑えながらも優れた描写力を実現すると同時に、全長約 88.4mm、質量約 390g の小型・軽量化も達成しています。

3. レンズ内手ブレ補正 5.5 段^{※2}、ボディ内手ブレ補正との組み合わせで 7.0 段^{※3}の協調制御が可能

レンズ内光学式手ブレ補正機構により 5.5 段、ボディ内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズのカメラ^{※4}との組み合わせでは、カメラとレンズによる協調制御を実現し、「EOS R5」(2020年7月発売)装着時は7.0段の手ブレ補正効果を発揮します。手持ちでの夜景撮影など、低速シャッターで手ブレしやすいシーンにおいても手ブレを抑えた撮影が可能です。

製品名	希望小売価格	発売日
RF15-30mm F4.5-6.3 IS STM	オープン価格	2022年8月下旬

※1.「UD (Ultra low Dispersion=特殊低分散) ガラス」を用いたレンズ。

※2. 焦点距離 30mm、「EOS R」使用時、CIPA 規格に準拠 (Yaw/Pitch 方向)。

※3. 焦点距離 30mm、「EOS R5」使用時、CIPA 規格に準拠 (Yaw/Pitch 方向)。

※4.「EOS R5」、「EOS R6」(2020年8月発売)、「EOS R3」(2021年11月発売)、「EOS R7」(2022年6月発売)。2022年7月12日現在。

- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0002
- EOS ホームページ : canon.jp/eos

〈“RF15-30mm F4.5-6.3 IS STM”の主な特長〉

1. 焦点距離 15mm から 30mm の広角を生かした多彩な写真・映像表現

- 焦点距離 15mmからの超広角を生かし、被写体との距離が十分にとれない室内や狭小スペースでの撮影や、ダイナミックな遠近感を生かした表現が可能。
- 焦点距離 30mm では、見た目に近い自然な画角と遠近感やボケ味を生かした撮影ができ、レンズ 1 本で多彩な写真表現を楽しむことが可能。
- EOS R シリーズの APS-C サイズ CMOS センサー搭載のカメラ装着時には、35mm 判換算で焦点距離 24-48mm 相当の使い勝手の良いズームレンズとして使用可能。



超広角 15mm

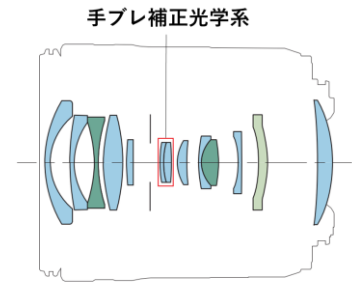


広角 30mm

2. ズーム全域で色にじみの少ない高画質と小型・軽量を両立

- 「EOS R システム」の特長である大口径・ショートバックフォーカス※1を生かし、かつ電子歪曲収差補正を前提として、プラスチックモールド非球面レンズを効果的に配置。少ないレンズ枚数で光学系を構成し、コストを抑えながらも優れた描写力を実現。
- 1 枚の「プラスチックモールド非球面レンズ」と 2 枚の「UD レンズ」を含む 11 群 13 枚の光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減し、ズーム全域で画面中央部から周辺部まで高画質を実現。
- 全長約 88.4mm、質量約 390g の小型・軽量と高画質を両立。

※1. 最後部のレンズ面の頂点から撮像面までの光軸上の距離が短いこと。



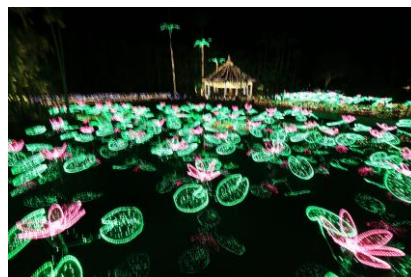
● UDレンズ ● プラスチックモールド非球面レンズ
RF15-30mm F4.5-6.3 IS STM (30mm 時)
光学構成図

3. レンズ内手ブレ補正 5.5 段、ボディ内手ブレ補正との組み合わせで 7.0 段の協調制御が可能

- レンズ内光学式手ブレ補正機構により 5.5 段の手ブレ補正効果を実現。
- ボディ内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズのカメラとの組み合わせでは、カメラとレンズによる協調制御を実現し、「EOS R5」装着時は、7.0 段の手ブレ補正効果を発揮。
- 手持ちでの夜景撮影など、低速シャッターで手ブレしやすいシーンにおいても手ブレを抑えた撮影が可能。



手ブレ補正：ON

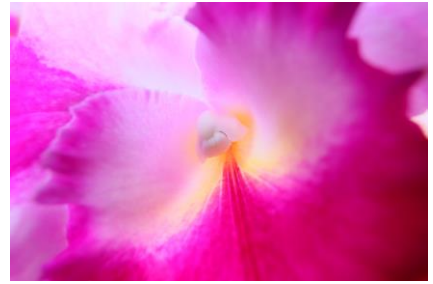


手ブレ補正：OFF

4. 表現の幅を広げる近接撮影や動画撮影

- マニュアルフォーカス撮影時に最短撮影距離 0.128m、最大撮影倍率 0.52 倍のハーフマクロ撮影に対応^{※1}。被写体をクローズアップした迫力のある写真が撮影可能。
- 室内でも撮影しやすい広い画角と、屋外での快適な歩き撮りをサポートする小型・軽量設計に加え、リードスクリュータイプのステッピングモーター（STM）を搭載し、自然で滑らかに追従する AF など、SNS で需要の高まる動画撮影ニーズに対応。

※1. 焦点距離 15mm 時。



迫力のあるハーフマクロ撮影

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。<https://cweb.canon.jp/eos/rf/lineup/rf15-30-f45-63>